

福島民報

2012(平成24)年
1月17日
火曜日
発行所
福島民報社
福島市大田町13-17
(郵便番号960-8602)
電話代表 (024) 531-4111
編集局531-4119 広告局531-4153
営業局531-4173 販売局531-4178
購読のお申し込み
0120-373437

蔵の町 喜多方の酒

夢心

夢心酒造株式会社
喜多方市字北町2932

きょうのニュース

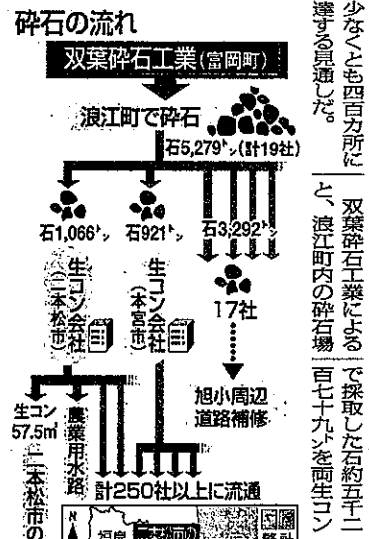
- 知事に猪瀬副都知事支援策示す
- 首相、消費増税「やり抜く」
- 県産木材の放射性物質検査支援
- 放射能拡散予測、米軍に提供
- ぶくしまは負けない明日へ

18面 22 4 3

汚染碎石250社以上流通

マンシヨン 高線量問題 使用現場40カ所

二本松市のマンシヨンの室内で屋外より高い放射線量が測定された問題で、富岡町の双葉砕石工業が放射性物質に汚染された疑いがある碎石を二本松市の生コン会社千六十六社に出荷し、さらに本市の生コン会社にも九百一十一社納入、而生コン会社を通じて計約三百五十社以上に流通していたことが経済産業省などの調べで分かった。汚染生コンの流通拡大が懸念される事態になり、国や県は使用実態の解明を急いでいる。



双葉砕石工業による採取した石約五千二百九十トン、浪江町内の碎石場、百七十九カ所を生コン

経済産業省が二本松市のマンシヨン室内で屋外より高い放射線量が測定されたとの報告を昨年未だ受けたにもかかわらず、すぐに調査などの対応を取っていなかったことが十六日、分かった。マンシヨンの一階部分だけ放射線量が高かったため、同層は全体で使用

経産省、10日以上「放置」

二本松市 年末報告 10日から調査

二本松市のマンシヨン室内で屋外より高い放射線量が測定されたとの報告を昨年未だ受けたにもかかわらず、すぐに調査などの対応を取っていなかったことが十六日、分かった。マンシヨンの一階部分だけ放射線量が高かったため、同層は全体で使用に判明している。土木用に出荷し、二本松市の旭小周辺道路の路盤や河川の護岸補修などに使われている。工場の材料など一般た。

ゴナカ
フレッチャーズ
Vスーツ
¥18,980

原発大難

28

苦悩する自治体 飯館村

東京電力福島第一原発事故で計画的避難区域に指定された飯館村は二年で満了という目標を立て、本格的な除染に取り組もうとしている。村も村民も飯館村らしい地域や家族の結び付きを大事にしてほしいと懸命だが、放射線や生活環境の変化など困難な現実が立ち回っている。理想に掲げている(手間)まじまじ。

仮設住宅を選んだ。大家族が離れ離れになり、仮設の住民が苦しいという声も村民から出始めている。と懸念を語る。家族や友人とつながる携帯電話の料金、村の自宅や離れた家族を訪ねるためのガソリン代、村で自給自足に近い生活や生活の変化によるストレスや生活の変化による医療費。支出は確実に増え、借りの上での村民からは支援も情報も仮設ばかり優先だと不満が出た。

二本松市のマンシヨン室内で屋外より高い放射線量が測定されたとの報告を昨年未だ受けたにもかかわらず、すぐに調査などの対応を取っていなかったことが十六日、分かった。マンシヨンの一階部分だけ放射線量が高かったため、同層は全体で使用に判明している。土木用に出荷し、二本松市の旭小周辺道路の路盤や河川の護岸補修などに使われている。工場の材料など一般た。

3.11からの福島

暮る孤独

住宅に移ることを選んだ。しかし、今度は家族と離れた寂しさが襲った。携帯電話で家族らと話す時間が増えた。「愚子が通話料金を支払ってくれているが、相当な金額になっているはず」と細かい面を覗く。

生きてこのうちへ帰れるか

飯館村の生活支援チームは、仮設住宅を選んだ。大家族が離れ離れになり、仮設の住民が苦しいという声も村民から出始めている。と懸念を語る。家族や友人とつながる携帯電話の料金、村の自宅や離れた家族を訪ねるためのガソリン代、村で自給自足に近い生活や生活の変化によるストレスや生活の変化による医療費。支出は確実に増え、借りの上での村民からは支援も情報も仮設ばかり優先だと不満が出た。

本県で冬季高校総体

平成26年、猪苗代が有力

平成二十六年の全国高校総体(インターハイ)は、冬大会が会場地として開催される見通し。

本県がインターハイの会場となるのは平成五年のスケート競技以来、二十一年ぶり。スキー競技は昭和五十九年以降、三十年ぶりとなる。ジャンプや複合は東北地方の他の県で行われる見通し。